

……一部の県民の間で使われる
 “宮城県図書館”の略称「県図」。
 県図の話題をご紹介します。

資料との新たな出会い —テーマ展示に注目!

現在、本館の各フロアでは、季節やその時の話題にあわせてテーマ展示のコーナーを設置しています。ふだんは分類に従って書架のあちこちに並んでいる資料を1か所に集めて展示することにより、利用される方が新たな資料に出会っていただけることを期待しています。展示している資料はいずれも貸出が可能です。展示は定期的リニューアルしていますので、ときどきのぞいてみてください。この他にも、本誌下欄でご紹介している図書館職員が選んだ「私の1冊」(3階フロア)のコーナーもご好評をいただいています。あわせてご覧ください。



3階フロアの展示



「私の1冊」コーナー(3階フロア)



2階子ども図書室



1階音と映像のフロア

librarian's selection
BOOK 図書館員から読書のすすめ

利用サービス班 鈴鴨 秀一

特別支援教育の本

私ごとですが、最近引越しをしました。自宅付近には特別支援学校があり、仕事の関係で平日に休むことが多い私は、子ども達の登下校の様子をよく目にします。

学校現場での勤務が多かった私にとっては、何度となく児童生徒の笑顔に支えられながら仕事をしていたため、引越しをしてからの休日は心地良い気分を味わっておりました。

ある日、荷物の整理をしていると1冊の本が目飛び込んできました。それは『光とともに』という本で、2004年に放映されたドラマの原作になったものでした。

物語はフィクションということでしたが、主人公の光くんが自閉症を抱えており、その成長過程をもとに家族や周囲の人々の交流が描かれていました。多くの自閉症児に関わる親御さん・教育・

医療・福祉行政関係の方々に取材を重ねたとの記載がありましたが、まるで実話のような話で私はすぐにその本に引き込まれてきました。

今回ご紹介する本は、特別支援教育・ADHD(注意欠陥・多動性障害)・自閉症に関するものです。ぜひ、ご覧ください

こんな本を選びました

- 『自治体から創る特別支援教育』
 渡部昭男・新井英靖編 クリエイツかもがわ 2006年
- 『ADHD・LD・アスペルガー症候群がな? と思ったら…』
 安原昭博著 明石書店 2007年
- 『ずっと「普通」になりたかった。』
 グニラ・ガーランド著 ニキリンコ訳 花風社 2000年



図書館 a r o u n d t h e み や ぎ

◆シリーズ第26回

仙台市泉図書館

館長 畠山 久

泉図書館は、平成2年7月に開館し、交通の便が良いこと等から、市立図書館7館の中で、利用者数、貸出数ともにトップで、年間の総貸出数は100万点前後を維持し、多くの市民に利用されています。平成20年11月から改修工事を行い、平成21年3月に子ども図書室を新設しました。その他の特色としては、泉区内に9か所(加茂、根白石、南光台、高森、松陵、寺岡、将監、黒松、長命ヶ丘)の泉図書館分室を運営しています。

泉図書館1階は、一般書・視聴覚資料を配置し、ビジネス支援や中高生を対象としたコーナー等も設置し、土曜日・日曜日だけでなく、平日も多くの市民にご利用をいただいておりますので、閲覧席を124席に増やしました。

2階は、子どもたちに読書の喜びと大切さを伝え、身近に読書が楽しめるように、子ども図書室を新設しました。土曜日、日曜日は利用者が多い状況ですが、平日は、利用者が少なめですので、親子でゆっくりご利用いただけたと思います。また、毎週水曜日にはおはなし会も開催しておりますので、ご来館をお待ちしております。

今後とも、限られた予算、人員の中で、費用対効果等も勘案して、図書館の一番の基本である、より多くの市民にご利用いただけるように、本当に役立つ図書館サービスの向上を目指して、職員一同、努力して参ります。



仙台市泉図書館

- 蔵書冊数:
514,252冊(平成19年度末)
- 貸出冊数:
1,032,574冊(平成19年度実績)
- 開館時間:
10:00~19:00(火~金)
10:00~17:00(土・日・祝)
- 休館日:
毎週月曜日、祝日の翌日、1月~11月の第4木曜日、年末年始、特別整理期間
- 交通:
仙台市営地下鉄泉中央駅下車徒歩5分

住所: 〒981-3133
 仙台市泉区泉中央1丁目8-6
 TEL: 022-375-6161
 FAX: 022-375-6165
 H P : <http://lib-www.smt.city.sendai.jp/index.html> (仙台市図書館)